

デジタル社会の形成及び人工知能の活用等 に関する特別委員会

委員一覧（20名）

委員長	松下 新平（自民）	出川 桃子（自民）	司 隆史（公明）
理事	船橋 利実（自民）	西田 英範（自民）	上野 ほたる（維新）
理事	星 北斗（自民）	東野 秀樹（自民）	新実 彰平（維新）
理事	岸 真紀子（立憲）	若井 敦子（自民）	岩本 麻奈（参政）
理事	磯崎 哲史（民主）	郡山 りょう（立憲）	奥田 ふみよ（れ新）
	越智 俊之（自民）	広田 一（立憲）	高良 沙哉（沖縄）
	鈴木 大地（自民）	平戸 航太（民主）	（会期終了日 現在）

（１）審議概観

第219回国会において、本特別委員会に付託された法律案及び請願はなかった。

〔国政調査〕

11月21日、デジタル社会の形成、人工知能の活用及び関係する科学技術等の諸施策に関する件について松本国務大臣及び小野田内閣府特命担当大臣から発言があった。

11月28日、デジタル社会の形成、人工知能の活用及び関係する科学技術等の諸施策に関する件について調査を行い、自治体情報システム標準化等による運用経費の増加に対する財政措置の必要性、宇宙分野における人材育成及び労働環境の整備の重要性に対する小野田大臣の見解、ガバメントAIの推進に当たり不合理な区別を防ぐための配慮の必要性、データ利活用の更なる推進に向けた体制整備の必要性、高度研究人材の活用に係る研究開発税制の要件緩和に対する検討状況、公金受取口座の登録拡大に向けた取組状況、ガバメントクラウドにおけるセキュリティ対策強化及び地方公共団体への周知徹底の必要性、我が国のAI法に罰則がない理由及びAIリスクへの対応方針、若者の政治離れを食い止めるため選挙のデジタル化を推進する必要性、島嶼地域の医療DXに関する政府の取組及び財政支援等の諸問題について質疑を行った。

（２）委員会経過

○令和7年10月21日（火）（第1回）

- ・特別委員長を選任した後、理事を選任した。

○令和7年11月21日（金）（第2回）

- ・理事の補欠選任を行った。
- ・デジタル社会の形成、人工知能の活用及び関係する科学技術等の諸施策に関する件について松本国務大臣及び小野田内閣府特命担当大臣から発言があった。

○令和7年11月28日（金）（第3回）

- ・政府参考人の出席を求めることを決定した。
- ・デジタル社会の形成、人工知能の活用及び関係する科学技術等の諸施策に関する件について小野田内閣府特命担当大臣、松本デジタル大臣、今枝デジタル副大臣及び政府参考人に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

出川桃子君（自民）、郡山りょう君（立憲）、岸真紀子君（立憲）、平戸航太君（民主）、司隆史君（公明）、新実彰平君（維新）、上野ほたる君（維新）、岩本麻奈君（参政）、奥田ふみよ君（れ新）、高良沙哉君（沖縄）

○令和7年12月17日(水)（第4回）

- ・デジタル社会の形成、人工知能の活用及び関係する科学技術等に関しての総合的な対策樹立に関する調査の継続調査要求書を提出することを決定した。
- ・閉会中における委員派遣については委員長に一任することに決定した。